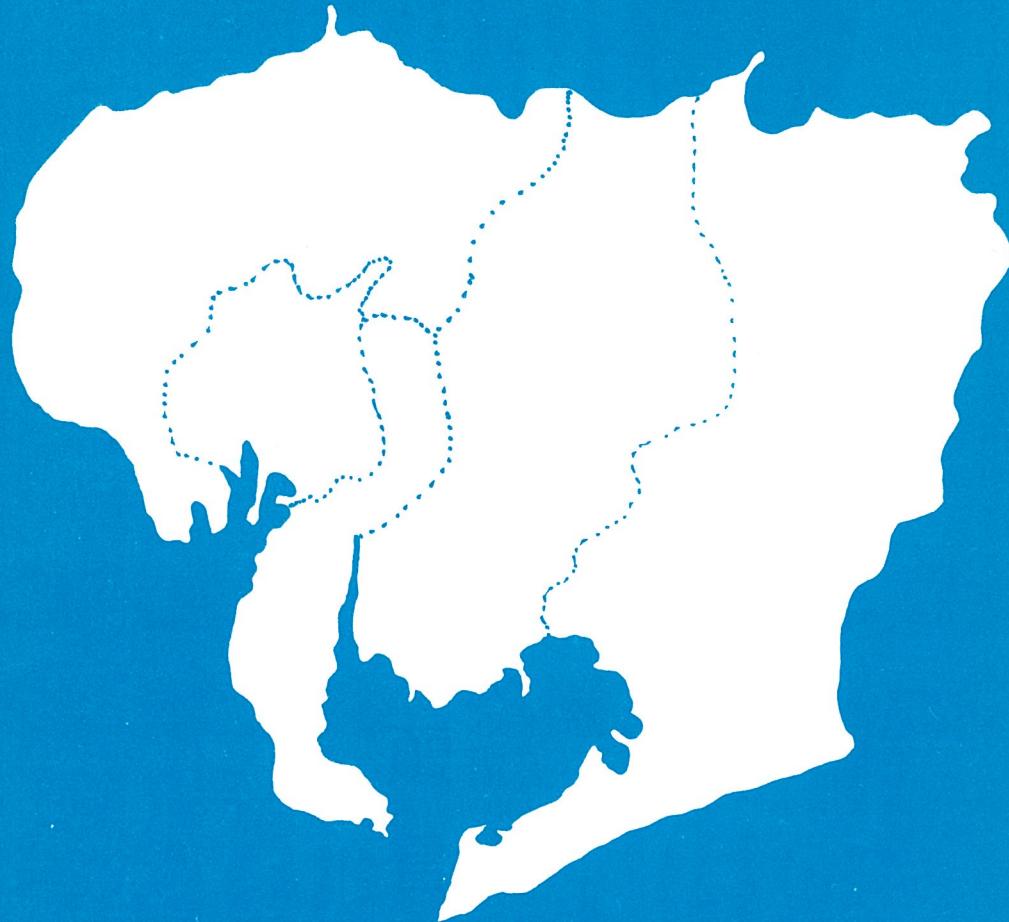


# 観の眼



## —— 目 次 ——

卷頭言	1
恩師野々村策一範士を偲んで	2
道場紹介 尽心館	3
文献紹介	4
団体だより 学校剣道	5
第8回全国剣道連盟対抗剣道優勝大会	5
地区だより 西三河剣道連盟	6
第1回全国高等学校剣道選抜大会	7
大会記録	8
第39回全日本学生剣道優勝大会	12
おめでとうございます 称号及び段位合格者	13
手数料一覧	14
大会要項	15
各大会申込書	16
平成4年度事業計画	19
各連盟所在地	22
編集後記	22

第16号



財團  
法人

愛知県剣道連盟

早春の候を迎へ関係各位の皆様

にはますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

愛知県剣道連盟が昭和六十二年  
その社会的評価を得て財団法人と  
してスタートし、いよいよ隆盛を  
極めていますことは誠にご同慶の  
いたりでござります。

さて過日フランスでの冬季オリ  
ンピックも閉幕しましたが、オリ  
ンピックの一般種目に柔道はあり  
ます（柔道、な、のは休、ハ、気、シ

いたしますが、現在では剣道が学校教育に取り入れられ、その底辺がますます広がりつつあることは喜ばしいことであらりま。

喜ばしいことあります  
近年オリンピックの始祖クーベルタンは「成功したかどうかは勝利者であるまえに、いかに努力したことである。人生においても大切なことは勝つことだけにあるのではなく、正々堂々と奮闘したかどうかである」と言われております。



恩師野々村策一範士を偲んで  
龜井顯

旧国鉄を代表する華麗な剣道家として、今は亡き恩師野々村先生の在りし日を思いうかべながら、人と成り、剣歴等を、先輩方皆様からお聞きしたことも交えて、心をこめて思い出の一端を書いてみたいと思いま

先生は岐阜県出身で、本巣郡鷺田尋常高校小学校から大垣工業学校へ進み、卒業後国鉄名古屋工場へ就職

進み卒業後国鉄名古屋工場へ就職されました。小学校の頃は無類の稽古好きで、上達も群を抜き、大垣工業進学後も稽古の虫で、別格の技を

昭和十五年四月の宮中斎寧館における御前試合には、岐阜県代表として出場されました。昭和十六年召集を受け、旧満州関もつておられました。



# 卷頭言

卷頭言

社があります。そこでは今なお伝統を引き継ぐ春慶塗の漆器を作つておりますが、かつてその名人として知られる谷正利さんは、「どこに塗りものでも同じだろうが、この仕事では下塗りがものをいう。春慶塗はまず本地の上に豆汁（こじる）を塗つて下地をつくる。その上に何回も繰り返えし塗の下塗りをして、二ヵ月寝かせて乾かす、や

卷之三

東軍へ出征、衛生兵として勤務中剣道の強豪とのことが知れ、剣道の教官として将校への剣術指南、連日の稽古に励んでいたことを、御本人から伺いました。

終戦後、直ちに国鉄の元の職場に復帰されました。ここでは修理の技術を買われ、車輛修理後の検査官となり、名古屋岡崎間の修理車の走行中の点検、仕上り等のチェック、安全第一の確認励行が認められ、野々村検査官でなければということから専任検査官が日常業務となり、検査修了後いつも私の勤務箇所の資材部へ立寄り、稽古の打合せをして帰つてゆかれました。

先生は人当りがよく、名古屋工場名古屋駅の庁舎内では、先生先生と知らぬ者ではなく、局長、部長、駅長などと、いつも気軽に話の出来る方で、人望もあり上司の信用も厚く、国鉄上部も先生の要望など多くを聞き入れて、剣道場の修繕、移転、拡張等には、物資不足の折にもかかわらず、よく許可していただきました。

上段の構えの写真をとり、野々村先生の優しい話術をもつて女史を喜ばせ、剣道への理解を心掛けていました。

その後先生はスポーツ会館の専任教師となられ、私共直接教えを受けることが出来なくなりました。思いおこせば普段は笑顔のたえない方ですが、こと剣道の話や稽古の時は、厳しさが顔に現れ真剣そのものでした。

不自由な時代に、私共稽古に励むことの出来たのも、先生のお蔭と深く感謝しています。

寒稽古には大垣から夜行で京都へ行き、岡崎武徳殿での早朝稽古で小川金之助先生の胸をお借りし、すぐ引返して職場入りしたとのことです。

戦後剣道復活の為、昭和二十六年、金山体育館で行われた、撲競技の高段者東西対抗試合に出場するなど、まだ剣道の認められない時に、我々にも指導たまわりました。名古屋城堀端の貿易会館旧ビルに、米軍のPXがあり、その二階会場で米軍兵士や軍関係者に、近藤利夫先生、野々村先生指導のもと、剣道試合を見せてPRしたり、名古屋駅六階の会議室に、航空隊技術大尉のアーサー女史を招き、剣道具を着装してもらい、上段の構えの写真をとり、野々村先生の優しい話術をもつて女史を喜ばせ、剣道への理解を心掛けていました。

昭和二十八年晴れて剣道ができるようになり、現在の笛島角、名鉄レジャックの場所に、当時国鉄宿泊所、会議室などの施設が建てられ、先生のお骨折りで会議室で稽古が出来るようになりました。何しろ仮道場のこととて、先生方の踏込みが強いの

で床に穴があき、補修の連続でした。その後当時の明石局長が、一高時代剣道の強豪で理解があり、野々村先生の要望を了解され、名鉄地下入口附近国鉄側空地に、床のしつかりした道場が出来、同好の方々が稽古をつけて下さり、部員全員の技も向上し、国鉄大会で、名古屋チームが優勝するようになりました。

その後、この道場もレール添いの不法構造物の為、近鉄地下出口附近に移転しました。鉄道弘済会の管理のもと、厚生施設と会議場として利用され、この会議場が一面余裕のある広さでしたから、剣道・卓球などの稽古に使われました。毎年正月二日には、恒例の初稽古を楽しむ同好の方々で盛況でした。二転三転の移転でしたが、これも皆野々村先生のお蔭によるものでした。

その後先生は、スポーツ会館の専任教師となられ、私共直接教えを受けることが出来なくなりました。思いおこせば普段は笑顔のたえない方ですが、こと剣道の話や稽古の時は、厳しさが顔に現れ真剣そのものでした。

又、先生自身必ず東京の武道館へ、毎月一回稽古に行かれ、修練に努められていましたが、知らぬ間に無理

殊に、剣道これは人間として最も大切な仁・義・礼・智・信を養うことの目的としたすばらしいス

らに二番ずり、三番ずりと続けて  
五回以上すませて上塗りに移る。  
手のこんだ作業の末に、あのやや黄  
みを帯びた琥珀の色つやがでてくる

と思う次第です。

うちに二番ずり、三番ずりと続けて  
五回以上すませて上塗りに移る。  
手のこんだ作業の末に、あのやや黄  
みを帯びた琥珀の色つやがでてくる。  
それを「あつみのあるぼつて  
りした色」「ぼんやりした底づや」  
と表現するという。下塗りの漆を  
すりこめばすりこむほど透明感が  
出て、素材の木目が鮮かに浮ひあが  
出るところに漆のふしぎさがある。

人間は誰でもお互い順風満帆な人生を願いつつも、時には辛い時、悲しい時、試練にぶつかる時、逆境に陥いる時もありましょう。こんな時、その原因を住々にして他人に求めることが多いのですが、眞の原因是自分自身にあることと、謙虚に反省してみることが大切なことだと思います。

同時に目標を持つということは人間のバイタリティの根源であり、挑戦意欲をかりたてくれるものだと存じます。なんだか人生論めいてしまいましたが、剣道を愛して情熱を傾ける皆様がた同志ともども、剣道という道を極めようとする努力の過程そのものが、自分自身を磨き高めていくものに通じていることを確信いたします。

皆様のさらなるご発展をお祈り申しあげます。私も微力ながら斯界の発展に精いっぱい努力いたす所存でございます。

どうか皆様の温かいご指導、ご鞭撻とお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

(次頁へ続く)

# 道場紹介（第一回）

## 心館水谷徳正

名古屋市東区の桜通りに布池のバ

ス停、その直ぐ東に余り知られてい

ない名の水筒先町というバス停があ

る。其処から北へ細い道を三〇米程

入った所に今回紹介しようとする尽

心館がある。

総地積五百余坪東は隣町の南北の道路に接している広大な杉山邸の一  
角に建てられた平屋建の道場は、間口四間半、奥行十二間、約五〇坪の  
広さがあり、南向きの入口に入った  
處の二〇坪の板の間が剣道場、その  
奥が同じ広さの柔道場に分かれてい  
る。一番北の奥、柔道場の上段には、  
道場神と道場の創立者杉山令二（以下敬称略）の胸像を安置した大きな  
神棚がある。道場の西側は前記のバ  
ス停からの南北の道に接し二米程の  
高さのところに武者窓が切つてある。  
東側は通しのガラスの引き戸になつ

て、花壇や樹木の茂った庭園に向つ  
ている。

永禄の昔、尾張国東春日井郡上末の城主、落合将監藤原安親は、主君織田信長に従つて美濃国稻葉城を攻めて勲功を立てたが、其の折の戦傷で死去した。その孫の新八郎は豊臣秀次に仕えたが、文禄四年、主君の凶変に因つて流浪し、祖父の地、上末に帰つて農業に従事した。その嗣子の代には、入鹿池を堀つた功に依り、藩主より苗字帯刀を許され、入鹿新田頭となつた。

その後、落合家を嗣いだ令二の実父卯左衛門は、実代々の庄屋になつたが、生来武道を好み、新影流剣術及び体術と、念流剣法の免許も受け、遂には自邸内に道場を建て、門人を指導し、後に小牧陣屋の非常守の隊士の剣術取立役になつた。

令二は、幼時、至つて多病であつた。十五才の折、学問の他に体育に志して、父より剣術を学んだが、後に白壁町の一心館で杉山保次郎より小野派一刀流を、前田武崇より真之神道流柔術を学び共に免許皆伝を受けた。一刀流は開祖小野次郎右衛門より十三代目である。

これより前、令二は明治十八年の近衛師団入隊を皮切りに、軍隊生活に入り、剣術、柔術で鍛え抜いた体力を以て、内には隊士の鍛錬を指導し、外には日清戦争に従軍、清国盛京省大連湾、旅順港、金州に転戦、各地で勲功を立て、明治二十八年に無事帰郷している。此の間同二十一

年満期帰郷の折、師杉山保次郎にそ

の人となりを愛されて師の嗣子となり、一心館で主に柔道を教授したが、後に養父の繼室に男子が出生したので請うて別居し、明治四十年現在の地に尽心館を創立した。当時は幕末の騒乱、西南戦争に統いて、日清、日露の二大困難とも言える戦争に大勝し国民の間には長年に亘り尚武の氣運が高まりつつあった。この事は杉山家に現存する当時の入門者の連判名簿に、地方農村出の平民の青少年で記載されている。

田和夫、前県剣道連盟事務局長によると、松田君來たか

天国の黄菊・白菊・花一面の安樂淨土の花園で、一本稽古でもしよ

かと御言つてゐるような、幻の先生の声が聞えるような気がしてなりま

せん。

昨年亡くなられた愛弟子である松

田和夫、前県剣道連盟事務局長によると、松田君來たか

が、一生を剣道にかけ、欧米へ武者修業に行かれた当時の、生き／＼とし

ておられた姿姿が忘れられません。

昭和五十三年没

なむあみだぶつ 合掌

願以此功德 平等施一切

同發菩提心

往生安樂國

昭和五十三年没

稻垣 正浩編 「先生なぜですか」 — 武道編 — 二〇一頁

定価 一四〇〇円 発行 大修館書店

本書のタイトルは「柔道にはなぜ黒帯があるの」となつてゐるが、内容は柔道のほか、剣道、相撲、なぎなたについて書かれています。

特に剣道となぎなたについて書かれています。

日頃剣道の指導を通して、な

にげなく思つてゐる事が以外な

歴史をもつてゐます。子供たちから思いがけない質問を受けることがあります。そんな時役立つのが本書かと思います。

また、軽い読物として氣の向くままに、興味のある箇所に目を通してみると面白い本です。

剣道に関する主な内容

○掛け声をするのはなぜ？

○蹲踞するのはなぜ？

○防具がいまのような形になつたのはなぜ？ その他三十項目



年が多く武術が士族のみならず、国民全般に広がる傾向にあつたことより察せられる。

その後道場は大いに隆昌し、入門した者は前後四千有余人、有段者は四百有余に及んだ。

館の規則として、門人は真之神道流柔術と小野派一刀流剣術を兼修することを許され、修練の度に応じて剣術柔術両部共に次の階級を与えられた。

一、十級ヨリ一級ニ至ル

一、初段 乙級

一、中段 甲級

一、内傳

一、皆傳

に分かれていた。又全七條から成る門人心得なるものを設け、その言動を厳しく指導している。その中には、言語を慎しみ、信実を旨とする。師長への礼儀を重んずる。先進後進者の互助互敬のこと。衛生風儀を正すこと、等を守らせ、此等の成文の全部を熟読暗誦させ、日夜怠ること無く反省させていた。

昭和十年頃には実子嚴も妻帶、父

に代つて師範となり、連日のように中区の武徳殿に通い、剣道に精進し、同十六年頃には請われて、野砲隊の剣術指南に出向した。

やがて終戦を迎えると、世上すべて武芸どころではなくなり、道場はむしろ戦犯の嫌疑のもとなる重荷となつたが、柔術の腕を生かして、接骨治療を始め、道場はその入院患者用に使用し、傍ら武家の商法ながら、膏薬の製造も始めた。

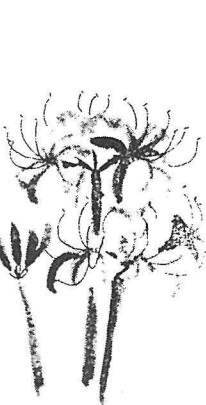
然し或る時、大勢のMPがジープで乗り込んで来た。「さては……」と家中が最悪の場合を予想したが、意

思ふが、それは間違つた。彼は生来口と耳に二重の苦を持つ武道家で、そのため道場の雜事万端は勿論家内一切は妻の仕事であつた。又、多数の門人を擁した先代の折も、妻女の仕事はさぞ大変なことであつたと推察されるし、現在実質道場の運営に当つては、妻のの嗣子英一も、他に本職があり、為に生ずる負荷は全部その妻の肩に懸つてゐるのが現実のようである。

まことに意外や、男の武芸の殿堂を支えて来たのは、女の細腕と云つても過言ではないのではないかろうか。

昭和二十年頃には実子嚴も妻帶、父

文献紹介	
稻垣 正浩編 「先生なぜですか」 — 武道編 — 二〇一頁	発行 大修館書店
本書のタイトルは「柔道にはなぜ黒帯があるの」となつてゐるが、内容は柔道のほか、剣道、相撲、なぎなたについて書かれています。	特に剣道となぎなたについて書かれています。
日頃剣道の指導を通して、な	にげなく思つてゐる事が以外な
にげなく思つてゐる事が以外な	歴史をもつてゐます。子供たち
にげなく思つてゐる事が以外な	から思いがけない質問を受ける
にげなく思つてゐる事が以外な	ことがあります。そんな時役立つ
にげなく思つてゐる事が以外な	のが本書かと思います。
にげなく思つてゐる事が以外な	また、軽い読物として氣の向く
にげなく思つてゐる事が以外な	ままに、興味のある箇所に目を通
にげなく思つてゐる事が以外な	みるにも面白い本です。
にげなく思つてゐる事が以外な	剣道に関する主な内容
にげなく思つてゐる事が以外な	○掛け声をするのはなぜ？
にげなく思つてゐる事が以外な	○蹲踞るのはなぜ？
にげなく思つてゐる事が以外な	○防具がいまのような形になつたのはなぜ？ その他三十項目



# 団体だより 学校剣道

## 愛知県学校剣道連盟について

水谷好助

愛知県学校剣道連盟は、昭和三十一年の第一回全国教職員剣道大会の参加を機に、現在の財團法人愛知県剣道連盟の傘下の基に設立されたと聞いております。設立にあたり、横山定雄先生が中心となり各先輩の先生方の御努力により結成されたと思います。

本会は、学校剣道の普及発展のために関係諸団体との連絡を密にし、剣道の研究と修練によって指導者としての資質の向上と会員相互の親睦を図ることを目的で活動しております。行事として講習会及び研究発表会を開催し、多数の先生方に講演ながらびに日頃の研究を発表していただいているます。その内容を研究誌(学校剣道)として発刊しており、現在十六号になつております。編集にあたり、青山定男先生はじめ寺沢将美先生・渡辺一民先生方の御努力により現在に至っています。又この研究誌は、各都道府県から絶賛をされ

ていることを聞いています。

又、全国教職員剣道大会の予選会、今年度で二十回になります教職員剣道地区対抗大会が行なわれ、先生方の資質向上に役立たせていただいています。

全国教職員剣道大会における当県関係者の成績は次の通りです。

個人戦、高・大の部  
優勝 恵士孝吉  
二位 林邦夫  
三位 渡辺香

中学校の部  
優勝 水田涉  
二位 青山定男  
三位 波多野秀夫

小学校の部  
優勝 高山潤一  
二位 水田涉  
三位 青山定男

高校の部  
優勝 水田涉  
二位 高山潤一  
三位 波多野秀夫

優秀選手  
青山定男二回 林邦夫二回

田中源五	北村滋敏
水田涉	高山潤一
渡辺香	
(昭和43年)	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 祐司	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	
副 水谷 好助	
次 水谷 好助	
大 恵士 孝吉	
中 匹田 神	
副 白井 尚一	
次 水谷 好助	
大 近藤 篤弘	
中 水谷 好助	



成績 一位 名古屋

二位 尾張

### 第33回全国教職員剣道大会予選会

期日 平成三年五月十九日

会場 露橋スポーツセンター

参加者 五十三名

選出 監督 林邦夫

団体・選手 宮崎正充(中央高)

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

個人 幼・少の部 岩下英司(幸田小)

中学の部 明壁啓純(大府中)

高・大・教員の部 寺澤英樹(一宮南高)

女子の部 岩瀬留美(豊川高)

成績 二十代の部

### 第2回愛知県ねんりんピック剣道大会

期日 平成三年六月五日

会場 热田神宮境内

参加者 剣道三十名

成績 六十五名

奉納 鍾道形 水谷徳正 勝股寿彦

成績 六十六名

会場 西三河

参加者 八十五名

成績 六十五才以上

会場 露橋スポーツセンター

参加者 八十五名

成績 六十五才以上

会場 露橋スポーツセンター

参加者 四十三名

成績 六十五才以上

会場 露橋スポーツセンター

参加者 四十二名

成績 六十五才以上

### 少年剣道大会(中学生)

期日 平成三年八月十一日

会場 天白スポーツセンター

参加者 男子 九十六名

成績 五十名

会場 曽根武仁(豊川西)

参加者 大敷篤志(原)

成績 九十六名

会場 川澄洋(鶴城)

参加者 大黒健一(津賀田)

成績 一百六名

会場 富永陽子(岩倉)

参加者 大森宏美(幸田)

成績 九十六名

会場 山本紀子(平洲)

参加者 肝付大造・中山睦友・尾野

成績 博之・松本武・松岡重治

会場 鈴木邦雄・伊集院俊基

成績 補欠 斎藤清人・山本勝男

会場 松岡重治・小島弘・高橋光郎

参加者 博之・松本武・松岡重治

会場 鈴木邦雄・伊集院俊基

成績 肝付大造・中山睦友・尾野

会場 博之・松本武・松岡重治

参加者 斎藤清人・山本勝男

成績 松岡重治・小島弘・高橋光郎

会場 鈴木邦雄・伊集院俊基

成績 肝付大造・中山睦友・尾野

会場 博之・松本武・松岡重治

参加者 斎藤清人・山本勝男

成績 松岡重治・小島弘・高橋光郎

会場 博之・松本武・松岡重治

参加者 斎藤清人・山本勝男

会場 京都

参加者 四十七チーム

出場者 中山・寺澤・穂園・安保・林

### 第39回京都大会

期日 平成三年五月三日～六日

会場 京都

参加者 剣道 八十六名

居合道 三十二名

杖道 十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 全日本剣道七段大会 (岩手県武道館落成記念大会)

期日 平成三年十一月十七日

会場 岩手県営武道館

参加者 五十名

出場者 神成一男

### 第18回全日本杖道大会

期日 平成三年八月四日

会場 東京

出場者 佐々木・三澤

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第12回国体東海ブロック大会

期日 平成三年八月二十五日

会場 三重県

参加者 五十九名

出場者 神成一男

### 第30回全日本女子剣道選手権大会

期日 平成三年九月八日

会場 大阪

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第4回全国健康福祉祭 いわて大会剣道文化交流大会

期日 平成三年九月二十一日～九月二十四日

会場 柴田幸喜恵

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第46回国民体育大会 剣道大会

期日 平成三年十月三日～六日

会場 羽咋市

参加者 六十四名

出場者・成績 成年二部 太田・水田・石原

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第26回全日本居合道大会

期日 平成三年十月十三日

会場 成年二部 一位 少年三位 少女三位

参加者 五十九名

出場者 岩瀬

### 第37回東西対抗剣道大会

期日 平成三年九月二十九日

会場 北海道

参加者 七十名

出場者 中村薰・堀山健治

### 第33回全国教職員剣道大会

期日 平成三年八月八日～十一日

会場 横浜

参加チーム 四十七チーム

出場者 団体 宮崎・明壁・水田

個人 堀山・小山

中学の部 寺澤

小学の部 岩下

女子の部 岩瀬

### 第37回全日本剣道選手権大会

会場 岩手

出場者・成績 松岡重治・小島弘

決勝トーナメント一回戦

会場 高橋光郎・伊集院

俊基・鈴木邦雄

期日 平成三年十一月三日

会場 日本武道館

参加者・成績 山崎尚

一回戦

### 第39回全日本剣道選手権大会

会場 岩手

出場者・成績 松岡重治・小島弘

決勝トーナメント一回戦

会場 高橋光郎・伊集院

俊基・鈴木邦雄

期日 平成四年三月一日

会場 露橋スポーツセンター

参加県 岐阜県・三重県・静岡県

成績 計六十八名

愛知県

吉川

二位 三重県

### 第12回中倉旗争奪剣道選手権大会

会場 くにたち市

参加者・成績 堀山健治

一回戦

### 第37回東西対抗剣道大会

会場 日本武道館

参加者・成績 山崎尚

一回戦

### 第22回東海四県対抗剣道大会

会場 露橋スポーツセンター

参加県 岐阜県・三重県・静岡県

成績 計三十六名

愛知県

吉川

二位 三重県

### 第46回国民体育大会 剣道大会

会場 平成三年十月三日～六日

会場 羽咋市

参加者 六十四名

出場者・成績 成年二部 太田・水田・石原

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第18回全日本杖道大会

会場 平成三年八月四日

会場 東京

参加者 佐々木・三澤

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第30回全日本女子剣道選手権大会

会場 平成三年九月八日

会場 大阪

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第4回全国健康福祉祭 いわて大会剣道文化交流大会

会場 平成三年九月二十一日～九月二十四日

会場 柴田幸喜恵

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第26回全日本居合道大会

会場 成年二部 一位 少年三位 少女三位

参加者 五十九名

出場者 岩瀬

### 第37回東西対抗剣道大会

会場 北海道

参加者 七十名

出場者 中村薰・堀山健治

### 第39回全国教職員剣道大会

会場 横浜

参加チーム 四十七チーム

出場者 团体 宮崎・明壁・水田

個人 堀山・小山

中学の部 寺澤

小学の部 岩下

女子の部 岩瀬

### 第37回全日本剣道選手権大会

会場 岩手

出場者・成績 松岡重治・小島弘

決勝トーナメント一回戦

会場 高橋光郎・伊集院

俊基・鈴木邦雄

期日 平成四年十一月三日

会場 日本武道館

参加者・成績 山崎尚

一回戦

### 第18回全日本杖道大会

会場 東京

参加者 佐々木・三澤

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第30回全日本女子剣道選手権大会

会場 大阪

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第4回全国健康福祉祭 いわて大会剣道文化交流大会

会場 平成三年九月二十一日～九月二十四日

会場 柴田幸喜恵

参加者 六十四名

出場者・成績 中西さおりベストト8進出

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

### 第26回全日本居合道大会

会場 成年二部 一位 少年三位 少女三位

参加者 五十九名

出場者 岩瀬

### 第37回東西対抗剣道大会

会場 北海道

参加者 七十名

出場者 中村薰・堀山健治

居合道 三十二名

杖道 四十名

薙刀 七名

各種の形 四名

# 手数料一覧表

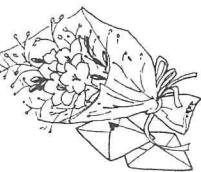
## 劍道・居合道・杖道 称号、段級

平成4年4月1日実施

段・級	審査料	登録料
8～2級	800円	1,300円
1級	900円	1,700円
初段	1,600円	3,400円
弐段	1,800円	4,000円
参段	2,600円	5,700円
四段	3,200円	7,000円
五段	4,000円	10,500円
六段	9,000円	22,700円
七段	12,400円	36,300円
八段	15,800円	53,300円
称号		
鍊士	17,000円	29,500円
教士	24,900円	42,000円

(財)愛知県剣道連盟

※1級受験に際し、愛知県剣道連盟入会金として終身会費5,000円を納入しなければなりません。



平成二年三月三十一日以前の段位  
保有者が、次の段位を受審する場合  
の修業年限は、旧規程による。

劍道學科問題

平成二年三月三十一日以前の段位  
保有者が、次の段位を受審する場合  
の修業年限は、旧規程による。

留意事項	9段	8段	7段	6段	5段	4段	3段	2段	初段	段位	修業年限	年令・その他
8段受有者	10年以上	7段受有後	6年以上	6段受有後	5年以上	5段受有後	4年以上	4段受有後	3年以上	3段受有後	2年以上	1年以上
満65歳以上	満48歳以上										3ヶ月以上	1級受有後 初段受有後 中学2年生以上 高等学校生徒以上 上(相同年齢)

杖道学科問題

(レポート)

参段以下  
イ、杖の構え方を主に四つ記せ。

居合道学科問題

(レポート)

## 二、出題形式

☆初段の部	(1)剣道の理念
☆二・三段の部	(2)剣道の訓
☆四・五段の部	(1)剣道の理念
	(2)剣道の訓

ବୁଦ୍ଧି ଲାଗିପାଇଲା ମନ୍ତ୍ର

## 事務局だより

修業年限が左記の通りに改正されました。

☆四・五段の部

# 大会要項

## 第8回尚武杯争奪剣道大会

期日 平成四年五月三十一日(日) 九時三十分

会場 枇杷島スポーツセンター

参加資格 本連盟の会員であること  
競技種別 一般(一チーム五名の団体戦)

①会社事業所単位で一チームとする

②個人、同好クラブは制限しない

③大学、高校、中学生は参加出来ない

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優勝チームに優勝杯を授与する(持ち回り)

②優勝より第三位まで賞品・賞状を贈る

③参加者に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年六月二日(火)

※女子の部もこれに準ずる。

## 第11回高段者大会

期日 平成四年六月十四日(日) 十時

会場 名古屋市総合体育館

参加資格 本連盟会員であること  
参加種目 剣道 六段~八段

参加料 一種目千円(含傷害保険料)  
申込方法 平成四年六月二日(火)

居合道形六段以上(五本以内)  
杖道形 六段以上

参加資格 本連盟会員であること  
参加種目 剣道 六段~八段

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年八月二十二日(土)

## 第23回愛知県女子剣道選手権大会

期日 平成四年九月二十三日(祝) 九時三十分

会場 名古屋市総合体育館

参加資格 愛知県剣道連盟の会員であること  
試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優秀者に賞状・賞品を贈る

②参加者全員に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年八月二十二日(土)

※申込用紙が足らない場合は、コピーしてお使い下さい。

※各参加者で赤・白のたすきを御用意下さい。

-----  
キリトリ線-----

## 第8回愛知県家庭婦人剣道大会

期日 平成四年六月二十一日(日) 十時

会場 露橋スポーツセンター

参加資格 ①本連盟の会員であること。  
②既婚の女性であること。  
③段位は五段以下とする。

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優秀者に賞状・賞品を贈る  
②参加者に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年六月六日(土)

※女子の部もこれに準ずる。

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優勝者に賞状・賞品を贈る  
②参加者全員に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年八月二十二日(土)

※申込用紙が足らない場合は、コピーしてお使い下さい。

※各参加者で赤・白のたすきを御用意下さい。

## 第25回愛知県剣道段別選手権大会

期日 平成四年九月二十三日(祝) 九時三十分

会場 名古屋市総合体育館

参加資格 ①優秀者に賞状・賞品を贈る  
②既婚の女性であること。  
③段位は五段以下とする。

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優秀者に賞状・賞品を贈る  
②参加者に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年六月六日(土)

※女子の部もこれに準ずる。

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優秀者に賞状・賞品を贈る  
②参加者全員に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年八月二十二日(土)

※申込用紙が足らない場合は、コピーしてお使い下さい。

※各参加者で赤・白のたすきを御用意下さい。

試合方法 トーナメント方式  
表彰 ①優勝者に賞状・賞品を贈る  
②参加者全員に参加賞を贈る

参加料 一人五百円(含傷害保険料)  
申込期日 平成四年六月六日(土)

※女子の部もこれに準ずる。

## 第22回全国高等学校定期制通信制剣道大会

日時 平成三年八月十三日(火) 午前九時より

会場 東京 日本武道館

愛知県は団体で第三位に入賞した。

愛知	市ノ瀬	渡辺	小野田	伊納	清水	4	7
	(メ)	(コ)	(メ)	(メ)			
埼玉A	(メ)					1	2
	田宮	増田	熊田	大島	小堀		

愛知	市ノ瀬	渡辺	小野田	伊納	清水	2	5
	(メ)	(メ)	(メ)	(メ)			
大阪A	(メ)		(メ)	(メ)	(コ)	3	5
	川原	村上	財前	中村	北村		

## 第8回尚武杯争奪剣道大会申込書

下記のとおり申込みします。

平成 年 月 日

申込み責任者 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

チーム名 [ ] 男子・女子

段位	氏名	年齢	会員番号
先鋒			
次鋒			
中堅			
副将			
大将			

※参加料…一人500円(含傷害保険料) 申込みと同時に  
※申込締切日…平成4年5月1日(金)

-----  
キリトリ線-----

## 第8回愛知県家庭婦人剣道大会申込書

下記のとおり申込みします。

平成 年 月 日

氏名	年 月 日(生)	才
住所	TEL	
段級位	主な稽古場所	
職業	会員番号	

※メンバー構成上年齢(8月3日現在)は正確に記載の事  
※参加料…一人500円(含傷害保険料) 申込みと同時に  
※申込期日…平成2年6月6日(土)

## 第23回愛知県女子剣道選手権大会申込書

### 中学・高校・大学、一般

※上記該当のところに○印を付して下さい。

下記のとおり申込みします。

平成 年 月 日

段位		氏名			
会員番号			年齢	才	学年
電話		学校・勤務先			
住所					

※参加料…一人500円(含傷害保険料) 申込みと同時

※締切日…平成4年8月22日(土)

## 第11回高段者大会申込書

### 剣道・居合道・杖道

※該当種目に○印を付して下さい。

下記のとおり申込みます。

平成 年 月 日

氏名			年 月 日生 才
住所	TEL		
称号	士	年 月 取得	
段位	段	年 月 取得	
過去の 対戦者	平成2年	氏名	
	平成3年	氏名	

※参加料…一種目1,000円(含傷害保険料) 申込みと同時

※締切日…平成4年6月2日(火)

## 第25回愛知県剣道段別選手権大会申込書

下記のとおり申込みします。

平成 年 月 日

段 位		氏名					
会員番号			年齢	才	性別	男・女	
電 話		学校・勤務先					
住 所							

※参加料…一人500円(含傷害保険料) 申込みと同時に

※締切日…平成4年8月22日(土)



平成4年度事業計画

明道淵劍知悉人法團財

12月			1月			2月			3月		
日	行	事	場所・時間	日	行	事	場所・時間	日	行	事	場所・時間
1火	●全剣連創立40周年記念式典	東京	1金 2土	1金 2火	1月 2火	1月 2火	1月 2火	1月 2火	1月 2火	1月 2火	1月 2火
2水			3木	3日	3水			3水	3水	3水	3水
4木	▲県連稽古納め・忘年会 (剣14:00 居・杖15:00)	名総体 西尾・豊田	5火	4木 5金 6水 7木 8金 9土	4木 5金 6土 7日 8月 9火	●柱道地区講習会(6.7日) ▲鍔道5段以降審査講習及称号審査会 ※名古屋級審査会(1.2級) ※東三河級審査会 ※第37回中部日本剣道大会	5金 6土 7日 8月 9火	5金 6土 7日 8月 9火	5金 6土 7日 8月 9火	5金 6土 7日 8月 9火	5金 6土 7日 8月 9火
5土	▲県連稽古納め・忘年会 (剣14:00 居・杖15:00)	名総体 西尾	6日	6日 7月	6水 7木	●柱道地区講習会(6.7日) ▲鍔道5段以降審査講習及称号審査会 ※東三河級審査会	6水 7日 8月 9火	6水 7日 8月 9火	6水 7日 8月 9火	6水 7日 8月 9火	6水 7日 8月 9火
7月	※東三河級審査会		8火								
9水			10木	10日 →▲県連稽古始め (剣10:00, 第2居・杖13:00, 第3競技場)	11木 11月	11木 12火	12金 13土	12金 13土	12金 13土	12金 13土	12金 13土
10木			11金	▲居合・柱道合同稽古会	12火	12火	13火	12火	12火	12火	12火
11火	※居合・柱道合同稽古会	枇杷島 知多 新 城	12土	12土 13F →※西三河級審査会 ※西三河級審査会	13水	13水 9:00	14木	14木 15金 16土	14木 15月 16火	14木 15月 16火	14木 15月 16火
12土	※居合・柱道合同稽古会	(酒井茂・東加茂・岡崎・刈谷)	13F	※西三河級審査会	14木 9:00	※北支那高等学校1年生大会	15金 16土	※北支那高等学校1年生大会	15月 16火	※北支那高等学校1年生大会	15月 16火
13F	※西三河級審査会		14月	14月 15火	15水	15水 16木	16木 17木	16木 17木	16木 17木	16木 17木	16木 17木
14月	※西三河級審査会		15火		17日 →居合道講習及審査会(級~3段)	16木 17木	17木 18木	17木 18木	17木 18木	17木 18木	17木 18木
15火			16水		18木 19火	18木 19火	19火 20水	19火 20水	19火 20水	19火 20水	19火 20水
16水			17木		20水 21木	20水 21木	21木 22金	20水 21木 22金	20水 21木 22金	20水 21木 22金	20水 21木 22金
17木			18金		22金 23水	22金 23水	23水 24木	22金 23水 24木	22金 23水 24木	22金 23水 24木	22金 23水 24木
18金			19土	→※西三河級審査会	23水 24木	23水 24木	24木 25金	23水 24木 25金	23水 24木 25金	23水 24木 25金	23水 24木 25金
19土	→※西三河級審査会		20日	20日 →※西三河級審査会	24木 25金	24木 25金	25金 26火	24木 25木 26火	24木 25木 26火	24木 25木 26火	24木 25木 26火
20日	→※西三河級審査会		21月	21月 22火	25金 26土	25金 26火	26火 27水	25金 26火 27水	25金 26火 27水	25金 26火 27水	25金 26火 27水
21月			22火		26火 27水	26火 27水	27水 28木	26火 27水 28木	26火 27水 28木	26火 27水 28木	26火 27水 28木
22火			23水	23水 24木	27水 28木	27水 28木	28木 29金	27水 28木 29金	27水 28木 29金	27水 28木 29金	27水 28木 29金
23水			24木	24木 25金 26土	28木 29金 30土	28木 29金 30土	29金 30水	28木 29金 30水	28木 29金 30水	28木 29金 30水	28木 29金 30水
24木			25金	25金 26土	31木	31木		31木	31木	31木	31木

居合道・格道合同練習	毎月1回(13:00)新橋スポーツセンター	尾張・毎月第1日曜日(19:00)	東三河…毎月第2・第4金曜日
各地区自主練習開催	名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00)	西三河…毎月1回	

國事考叢

各地区自主練習開催日	名古屋…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00)	尾張…毎月第1日曜日	尾南…毎月第1金曜日(19:00)	東三河…毎月第2・第4金曜日
会合・練道会同練習	毎月1回(13:00)松原スポーツセンター	星張…毎月第1日曜日	西三河…毎月1回	西三河…毎月1回

## 各連盟所在地一覧

団体名	〒	住所	責任者	電話
(財) 愛知県剣道連盟	453	名古屋市中村区鳥居通り2-41 ウチフジビル2F	竹味由登	052-481-0093
名古屋市地区剣道連盟	453	名古屋市西区藤の宮通り3-5 川津ビル405	田中弘 FAX	052-586-6850 052-581-8688
尾張地区剣道連盟	491	一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内	寺澤将美	0586-43-1023
西三河地区剣道連盟	444-06	幡豆郡吉良町大字富好新田字 蔵井戸5	早川五十一	0563-32-2044
東三河地区剣道連盟	443-01	蒲郡市形原町西御屋敷28-2	富田孝夫	0533-57-2769
尾南地区剣道連盟	477	東海市高横須賀町真光寺20	伊藤勲次	0562-32-0103
中部地区実業団剣道連盟	451	名古屋市西区松前町2-60 名鉄体育館内		052-561-4811
愛知県剣道道場連盟	458	名古屋市緑区ほら貝2-7	近藤勁助	052-877-4567
東海学生剣道連盟	453	名古屋市中村区名駅4-7-35 毎日新聞中部本社事業部内		052-561-5202

山本芳郎（六十六才）  
 （財）愛知県剣道連盟理事  
 平成四年四月十三日逝去

訃報

謹んで御冥福をお祈り申し上げます

編集後記  
 今回より道場紹介を始めました。  
 愛知県内にある歴史もった道場について、御存知のお方の御一報をお待ちしております。

今後、「観の眼」年二回発行を目指して、私共努力致しますので、皆様の声の広場として御寄稿を願い申します。

委員長	委員	委員	委員	担当副理事長	広報委員会
若松幸雄	渡辺一民	中治彦	木三彦	木健一	鈴夫

広報「観の眼」第十六号

平成四年五月二十日

財団法人愛知県剣道連盟  
〒451名古屋市中村区鳥居通り  
二ノ四一ウチフジビル二階  
電話(052)481-10093  
FAX(052)481-10095

題字・故竹田弘太郎名誉会長